



亀中だより

No.3

令和6年4月17日 文責 岡田



For The Students!

令和6年度亀山中学校入学式



4月9日、令和6年度亀山中学校入学式を行いました。心配された桜雨も午前中にはあがり、入学式に合わせるように咲き誇った多聞櫓の桜が祝ってくれ
る中で、199名の新入生はみな引き締まった表情で式に臨んでくれました。

生徒会本部役員が2,3年生を代表して式に参加しました。「ともに力を合
わせて」という生徒会からの歓迎の場面では、姉妹校の岡山県高梁中学校から
のお祝いメッセージ、亀山中学校校歌、美術部による壁画の紹介、生徒会長：
新玉愛斗さんによる歓迎の言葉がありました。そして最後には新入生を代表し
て佐野呼彩(さのこいろ)さん(白川小出身:1年1組)があいさつをしてくれま
した。佐野呼彩さんの「新入生代表の言葉」を以下掲載させていただきます。

うらかな春の尾と訪れとともに、私たち199名は亀山中学校の一年生として入学式を迎えました。今、
私たちはこれから始まる中学校生活への期待と不安を胸に抱いています。思い返すと先月まで私たちは
ランドセルを背負い、それぞれの小学校に通っていました。今日からはこの新しい制服を着て通学するこ
トになり、亀山中学校の一員になったことを実感しています。今日のよき日を無事に迎えることができたの
も、家族の温かい支えがあったからだと思います。

こうした期待に応えるため、毎日を真剣に過ごしていきたいと思います。中学校の学習は今までよりも内
容が難しくなり、定期テストなど小学校ではなかったことも増えるため、今は少し不安を感じています。です
が、日ごろからきちんと予習復習をして、テスト直前であわてることのないよう計画的に勉強を進めたいと
思います。さらに体育祭や文化祭などの学校行事、新たな仲間との出会いなど、楽しみなことも多くありま
す。それらすべてを充実したものにできるよう、一日一日を大切に過ごし、努力していきたいと思いま
す。

これからの3年間は、先生方にご指導をいただきながら、勉強や部活動を精いっぱい頑張ります。私た
ち新入生は中学校生活について、まだわからないことばかりです。どうか先生方、先輩方、温かい目で見
守っていただき、ご指導くださいますようお願いいたします。

令和6年4月9日

新入生代表 佐野 呼彩

(次ページへ)

美術部によるステージ画 お披露目！



入学式、美術部員によるステージ画の紹介より…

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。この絵にはいろいろなこだわりが描かれています。例えば、全体的に反対になっているものをたくさんおくことです。反対になっているものの美しさを伝えたかったので描きました。そして列車にも注目してほしいです。列車が走るためには線路が必要です。この線路の行先はすべて違います。これから始まる中学校生活ではいろいろな選択肢があります。それを自分一人で選択したり、時には助け合ったりしながら自分の道を進んでいきます。列車は目的地まで走っていきます。そんな列車をみなさんと重ねながら描きました。自分の選択した道をどんどん走って行ってください。両サイドにある木には根気強く、根を張りさらに高く、大きくという意味を込めました。また、葉の生い茂った部分とそうでない部分があるように、すべて完璧でなくてもよい、どこか欠けていても自分らしく生きてほしいと願いを表現しました。そして壁画の中には、4種類の動物がいます。この4匹の動物はみなさんに中学校で学んでほしいことの象徴です。くじらは何事にも寛大な心で接せられるような包容力、蝶は自由でいい時、悪い時を判断する力、鳥は平和について考える力、くらはげは自分独自の世界を創造する力。この4つをこれからの中学校生活の中で持っていてほしいという願いを込めました。

教科書無償化について

始業式、入学式で新しい教科書を配付させていただきました。さて、みなさんは教科書の値段がいくらかご存じでしょうか。中には三年間使用する教科もあるのですが、今回配付させていただいた1年生が使う教科書は、全部でおよそ9,000円(3年間で約18,000円)になります。しかし、この教科書も今から60年ほど前までは、みんなが新しい教科書をただでもらえるというわけではありませんでした。そんな中で教育費の保護者負担を軽くし、憲法26条に記されている「義務教育はこれを無償とする」という言葉の通りにすべきだという動きが高まり、1962年(昭37年)に法律をつくられ、翌年から段階的に教科書が無償で子どもたちに配られることになりました。この実現に向けては多くの署名活動や教科書を買わない運動が背景にありました。私たちが今、なにげなく手にしている一冊一冊の教科書には、このような運動があつてのことなのです。

生徒のみなさん、このような活動のもとに教科書無償化が実現しています。大切に使うことももちろんですが、疑問を持った人の小さな一歩から、世の中を変えていくことが可能なのです。日常にある“不思議”や“疑問”も社会を変える第一歩となる可能性があるのです。入学式、始業式でお話した学校教育目標の「たくましい行動力」にもつながることかもしれません。